

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年6月24日(月) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
R254 5	マイコプラズマ ニューモニエ DNA 定性 [QProbe] 6B616-0000-064-851	咽頭 ぬぐい液	ARR (r)	凍結 (28日)	2~4	300 ※6	PCR (QProbe)	陰性 (-)	重 咽頭ぬぐい液は、滅菌綿棒 で拭い、滅菌ポリスピッツ (ARR) に綿棒を入れて 凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避 けてください。 本検査方法ではコンタミ ネーションの影響がより 大きくなりますので、検体 採取にあたっては取り扱 いに充分ご注意ください。

※6：微生物学的検査判断料

● マイコプラズマニューモニエDNA 定性〔QProbe〕

M.ニューモニエDNAの検出に加え、23S rRNA遺伝子の変異の有無をご報告いたします。

マイコプラズマ ニューモニエ (*Mycoplasma pneumoniae*) は、非定型肺炎の代表的な原因菌であり、小児を中心とした幅広い年齢層に感染し、マイコプラズマ肺炎を引き起こします。治療においては、第一選択薬としてマクロライド系抗菌薬が広く使用されています。

近年、日本ではマイコプラズマ ニューモニエのマクロライド系抗菌薬に対する耐性菌の増加が報告されています。マクロライド耐性化には、23S rRNA遺伝子が関与しており、2063番目あるいは2064番目の塩基に変異が生じた場合、耐性を示すことが明らかとなっています。

本検査は、QProbe法により、咽頭ぬぐい液中のマイコプラズマ ニューモニエDNAを検出する定性検査です。併せて、23S rRNA遺伝子の2063番目または2064番目の塩基における変異の有無をご報告いたします。

特に急性期におけるマイコプラズマ感染の診断補助にお役立てください。

▼疾患との関連

マイコプラズマ肺炎

▼関連する主な検査項目

マイコプラズマニューモニエ〔CF〕
マイコプラズマニューモニエ〔PA〕

▼検査要項

検査項目名	マイコプラズマニューモニエDNA 定性〔QProbe〕
項目コードNo.	R254 5
検体量	咽頭ぬぐい液
容器	ARR (r) 滅菌ポリスピッツ
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	2~4 日
検査方法	PCR (QProbe)
基準値	陰性 (-)
検査実施料	300点 (「D023」微生物核酸同定・定量検査「06」)
判断料	150点 (微生物学的検査判断料)
備考	重 咽頭ぬぐい液は、滅菌綿棒で拭い、滅菌ポリスピッツ (ARR) に綿棒を入れて凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

●参考文献

川嶋 洋介, 他: 日臨微誌28 (2) : 98~105, 2018. (検査方法参考文献)

日本マイコプラズマ学会: 肺炎マイコプラズマ肺炎に対する治療指針 第4刷: 2016. (臨床的意義参考文献)